

様式 4

平成 28 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立八頭高等学校

学校長 橋本 代里子

評 価 日	平成 29 年 2 月 2 日 (木)	
評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等	
<p><b>1 今年度の自己評価について</b></p> <p><b>(1) 重点目標の達成状況</b></p> <p>○将来にわたる主体的学習者の育成「C」評価（自宅学習時間の不足）について</p> <p>高校生だけでなく小学生・中学生も家庭学習時間が減少している。スクラム事業が今年度で終わるが、小中高共通のこのような課題に連携して取り組むことは重要。来年度以降も、高校がリーダーシップをとって小中校が連携して組織的に取組めるようにしてほしい。</p> <p>また、スクラム事業以前は理科実験などでも中高の連携があった。今年度までのスクラム事業は数学に限られていたが、今後は他教科も取り組んでほしい。</p> <p>○進路決定と自己実現「B」評価・基本的生活習慣の確立による学習と部活動の両立「B」評価</p> <p>八頭高生は良い生徒が多い。ヤンチャは困るけど若いうちの失敗経験は大事。挑戦・行動してわかることも多いので、出来ればもう一步踏み出して行動してほしい。</p> <p>部活でも素直でよく話を聞いてくれる。ただ伝えたことしかできなくて、伝えたことプラスアルファができるように向上心を持ちたい。要領よく行動したりきれいな言葉で語るだけでなく、具体的な深まりのある行動がとれるように成長してほしい。</p> <p><b>(2) 説明・公表について</b></p> <p>特になし。</p>	<p>○八頭タワープロジェクトとして、来年度以降も引き続き取り組む予定。</p>	<p>○引き続き主体的学習者の育成に取り組みたい。</p>
<p><b>2 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</b></p> <p>○授業改革</p> <p>八頭高の授業は近年大きく変化している。中学生の実態を理解したうえでいろいろな工夫が凝らされており良い。</p>	<p>○校内外の研修に多くの教員が積極的に参加している。引き続き取り組みたい。</p>	

### 3 取組改善のための提言

#### ○TEASの取組について

校舎改築が終わり環境は整った。TEASの取組は十分良いと感じるが、掲示物の状況や教室のゴミの様子には最後の詰めが甘いところもある。今後は躰や取組む姿勢を徹底することで、この取り組みを更にアピールする段階へと進んでほしい。

#### ○公共交通機関の利用について

多くの八頭高生は信号の利用マナーも良く安心してはいるが、自家用車送迎に対しては地域からの苦情もある。時には「公共交通機関をもっと使おう！」などのキャンペーンを張ってはどうか。

#### ○自宅学習時間の増加について

我々大人が支援できることは、学習の環境づくりである。放課後学習室はこのひとつ。好きな教科をひとつつくるだけで学習に取り組み易くなると思う。来年度は勉強合宿などに予算をもっと割いても良い。

### 4 委員より情報提供

○八頭高生の利用が多い郡家駅構内の「ふらっとぴあ・やず」2階スペースを充実する方策を八頭町や八頭町議会にお願いしているところ。

○若年層の非行は低年齢化が進んでいる。SNSでのトラブルも多い。鳥取県における人工中絶は全国平均より多い。高校生の非行は改善されつつあるが、逮捕者も出ている状況である。

○愛し愛され運動を核にして引き続き取り組む。

○大雪や学校行事での大型バスの利用時などでは、近隣にご迷惑をおかけすることがある。家族の送迎を頼るのではなく、公共交通機関を利用することは重要。日頃より指導を徹底し、保護者と十分に連携しながら検討したい。

○勉強合宿の充実・教科担任面談・AL授業での意欲喚起などに取り組みたい。